

# 2012 年度授業料等不徴収協定に基づく派遣交換留学生 募集要項(同派遣交換留学用奨学金募集要項) <<追加募集>>

東京工業大学の国際交流活動の一環として、本学と海外の大学との授業料等不徴収協定※に基づき、海外の大学へ派遣する学生(以下「派遣交換留学生」という)の募集を行います。

派遣交換留学は、単に語学力の向上を目的とするものではなく、自身の専攻分野についての講義の履修や研究指導を受けることを目指すことが期待されており、これをふまえて学内選考が行われます。

また、派遣交換留学生候補者として選考された学生の中から、派遣交換留学生用奨学金(下記 8 参照)受給者として本学から推薦する学生の選考も行われます。

**ただし、これらの選考は、本学の派遣交換留学生及び奨学金推薦候補者を選考するものであり、派遣交換留学生及び奨学生としての最終決定は、派遣交換留学先大学及び奨学金支給団体における選考結果によります。(留学先大学や奨学金支給団体へ推薦・申請(出願)した結果、不採択となることもあります。)**

**なお、派遣交換留学先大学では学位の取得はできませんのでご留意願います。**

※交換留学生として留学する場合、本学へは授業料を支払い、派遣交換留学先大学へは授業料を支払わなくてよいとする協定

## 1. 応募資格

- 東京工業大学から推薦を受けているという自覚を持ち、本学の代表として授業料等不徴収協定校(別表)に留学する意志のある者。
- 留学時に学科に所属している 2 年次以上の学部学生又は大学院生で本学に在学している者※<sup>1</sup>。
- 2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日までの間に出発、留学を開始する者※<sup>2</sup>。留学期間は 1 学期以上 1 年以内。ただし 1 学期は、留学先となる授業料等不徴収協定校の学期による。
- 学内選考通過後、下記 7 に記す派遣条件を満たす者。

※<sup>1</sup> 外国人留学生の内、私費かつ正規課程の留学生については応募可能。ただし自国への留学は、研究上必要と認められた場合にのみ認める。

※<sup>2</sup> 留学開始時期は原則として、派遣先大学の秋学期(8～10 月頃)とする。2012 年 7 月以前に留学開始を予定する学生は、必ず留学生交流課に書類提出前に相談すること。

※<sup>3</sup> 2012 年度授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学生への推薦がすでに決定している者は、辞退しない限り追加募集に応募することはできない。

## 2. 派遣交換留学先大学

本学と授業料等不徴収協定を締結している大学(別表)。**ただし、最新の状況については国際室ホームページにより確認すること。**

大学によっては交換留学生の受入を行っていない学科・専攻もあるので、**留学希望大学のホームページにより十分に確認すること。**

## 3. 応募の方法及び応募期間

提出書類：書類は全て A4 サイズに統一して作成、両面印刷不可

- 1) 派遣交換留学願書(様式 1、写真貼付のこと)  
注)成績評価点数の計算方法は下記 10 を参照
- 2) Essay Form for Tokyo Tech Exchange Program(様式 2)
- 3) 人物評価書(指導教員、助言教員が作成、厳封のこと)
- 4) 学部生:学部の成績証明書(コピー可)  
大学院生:学部及び大学院の成績証明書(コピー可)  
注)編入の場合は編入前の成績証明書も添付すること
- 5) 語学試験の成績証明書(原本)の写し(下記 4、10 参照)  
注)受験者氏名が確認できる場合のみ、Web 画面のコピーも受け付けるが、原本が届き次第、提出すること(選考には原本が必要となる)
- 6) 語学アドバイスシート  
注)2012 年度授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学生に応募経験がある場合は必須

※様式 1 については、応募者が外国人留学生の場合は英文様式(Form1)を使用可

※全ての書類が揃っていないと応募は受け付けない

※提出書類は返却しない(提出前に各自コピーすること)

提出先：留学生交流課(大岡山キャンパス 本館 1階 21号室)

提出期限：**2011年11月30日(水)17時必着**

募集要項配付場所：留学生交流課(大岡山キャンパス 本館 1階 21号室)  
学務課(すずかけ台キャンパス J1棟 1階)  
書式は国際室ホームページからダウンロード：  
<http://www.ipo.titech.ac.jp/exchange/program/index.html>

#### 4. 語学試験の成績証明および語学能力について

第1～3希望の留学希望大学・国における使用言語によって、以下に記す語学要件について確認した上で準備を行い、語学試験の成績証明書(原本)の写しを提出すること。

また、第1～3希望のいずれかに、別表:協定校一覧で語学要件に【ドイツ語】、【フランス語】が含まれる大学を希望する場合、各言語の筆記試験の受験が必要となる。筆記試験については、下記5も合わせて参照すること。

##### [1]英語

TOEFL(下記10参照のこと)の成績証明書(原本)の写しを必ず添付すること。TOEFL以外(例:TOEIC)の語学試験は応募に使用することができない。なお、応募にあたっては次の能力を有すること。

1)第1～3希望のいずれかに、公用語が英語の国(シンガポール、オーストラリア、カナダ、アメリカ、英国)、北欧(フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク)、ベルギー、オランダの大学を希望する場合  
・TOEFL-iBT 76(CBT:207、PBT(ITP):540)点以上

2)上記以外の場合

・TOEFL-iBT 64(CBT:180、PBT(ITP):507)点以上

##### [2]ドイツ語

第1～3希望のいずれかに、別表:協定校一覧で語学要件に【ドイツ語】が含まれる大学を希望する場合、ドイツ語技能検定試験3～4級程度を取得していることが望ましい。ただし試験の種類は限定しないため、同試験およびその他のドイツ語検定試験についても、成績証明書(原本)の写しがある場合は提出すること。

##### [3]フランス語

第1～3希望のいずれかに、別表:協定校一覧で語学要件に【フランス語】が含まれる大学を希望する場合、実用フランス語技能検定試験3～4級程度を取得していることが望ましい。  
ただし試験の種類は限定しないため、同試験およびその他のフランス語検定試験についても、成績証明書(原本)の写しがある場合は提出すること。

##### [4]上記以外の言語

協定校一覧で語学要件に含まれるその他の言語については、試験の種類は限定しないため、何らかの語学検定試験について、成績証明書(原本)の写しがある場合は提出すること。

#### 5. 学内選考会

書類審査の結果、面接や語学試験の受験が必要と認められた場合、学内選考会を行う。対象者には、日時、場所等の詳細をメールにて通知する。

面接で使用する言語は、日本語、英語、及び、留学先で使用する言語(ドイツ語、フランス語、中国語、イタリア語)とする。

【ドイツ語圏・フランス語圏 留学希望者】

筆記試験：2011年12月5日(月) 予定

ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験3級取得者は、筆記試験免除可能。

※学内選考会や筆記試験の実施方法、日程については応募者数に応じて変更する可能性がある。学内選考会(面接)および筆記試験の詳しい日時、場所等については決まり次第、メールにて通知する。

※応募人数が多数の場合は、事前に予備審査(書類審査)によって学内選考会受験者を選考することがある。  
※学内基準(4. 語学試験の成績証明および語学能力について 参照)に満たない場合は申請を受理しない。

## 6. 選考結果通知

選考結果は、書類審査、及び、必要に応じて上記 5 に記載した学内選考会の結果をもって決定し、書面にて応募者宛に送付する。選考結果に関する問い合わせは原則受け付けない。

## 7. 派遣交換留学生推薦決定者の派遣条件

- ①派遣交換留学生として推薦が決定した後、派遣交換留学先の大学へ出願するまでに語学等の要求事項を満たしていること。
- ②派遣交換留学誓約書(参考配布)を提出すること。
- ③渡航前に教務課へ「留学願」を提出し、派遣交換留学期間中は、本学へ授業料を納めること。(派遣交換留学は、学則第 25 条に規定する「留学」にあたり、派遣交換留学期間中は「休学」ではなく「留学」の身分となる。)
- ④留学前に事前報告書、留学期間中 3 ヶ月ごとに近況報告書、留学終了後に終了報告書を提出すること。

## 8. 推薦可能な奨学金

- ①独立行政法人日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)
- ②スイス連邦工科大学チューリッヒ校(ETH)《Program II》、シュツツツガルト大学
- ③佐藤陽国際奨学財団奨学金(一部協定校留学生対象)
- ④ヤマハ発動機国際友好基金
- ⑤東京工業大学基金奨学寄附金

※本学からの推薦決定の後、奨学金支給団体の都合や、奨学金支給団体による選考結果により受給できない場合や奨学金受給期間の短縮及び減額が可能性があることに留意すること。なお、派遣留学のための奨学金は、各所属の部局でも募集する場合がある。詳細は各部局事務へ問い合わせること。

## 9. 願書提出後の辞退について

願書を留学生交流課に提出後に辞退をする場合は辞退届(国際室ホームページからダウンロード可)を提出すること。

## 10. その他

### 【TOEFL に関する条件】

- ① TOEFL-ITP の結果を TOEFL の結果として提出可能。  
推薦決定後に留学希望大学へ出願する際には、有効期限内の正規の試験結果(TOEFL iBT、大学によっては IELTS でも可)が必要となる。  
正規の試験結果として、Web 画面や TOEFL-ITP は認められないので注意すること。
- ② 本学生協で行っている TOEFL-ITP の試験日(11 月 9 日(水)実施予定)は事前に生協にて確認し、提出期限に留意した上、直接申し込むこと。(問い合わせ: 生協大岡山購買書籍店 03-3727-7357)

### 【成績評価点数】

成績評価点数は、学部在学時の成績を 3 段階(80~100 点=3.0, 70~79 点=2.0, 60~69 点=1.0)で換算した後に、全取得単位数の評価平均値を算出し、願書に記入すること。

$$\frac{(\text{換算ポイント } 3.0 \text{ の単位数} \times 3) + (\text{換算ポイント } 2.0 \text{ の単位数} \times 2) + (\text{換算ポイント } 1.0 \text{ の単位数} \times 1)}{\text{総取得単位数}}$$

### 【留学先大学への出願時期、可否通知時期】

協定校により異なるため、各大学の情報はホームページ等で各自収集すること。

**問い合わせ先** 留学生交流課(大岡山キャンパス 本館 1階 21号室) 派遣担当

電子メール : [hakenryugaku@jim.titech.ac.jp](mailto:hakenryugaku@jim.titech.ac.jp) 電話:03-5734-7645(内線:7645)

ホームページ: <http://www.ipo.titech.ac.jp/exchange/program/index.html>

※応募書類に記入いただいた情報は、派遣交換留学生の選考および派遣業務のため以外には利用されません。留学生交流課が必要と判断したときは出願者への連絡に使用します。